

さかみち

至誠の人になろう

2016年(平成28年)11月24日 学校通信第12号

- ・しっかり学び
- ・せつ極的なあいさつ
- ・いつも元気な児童



心を育てる



先週の、道徳の授業参観はどうでしたか。平日にも関わらず多数の保護者の皆さまにお越しいただき、子どもたちの道徳性を育むために学校・家庭・地域社会が一体となって、より一層取り組まなければならないことを確認する機会となりました。

親は、わが子に何を望むでしょうか。子どもにどのように育ててほしいと願うでしょうか。自他共に大切に生きて生きる人、自らを律し、他と協調しながら生きる人、豊かな心を養っていく人など、育ててほしいと願う人間像はさまざまです。

その親の願いを子どもが受け止めて健やかに成長していくために大切なことがあります。それは、「**子は親の鏡**」の言葉があるように親自身の生き方が子どもにとって最大の教育環境であるということです。私は、子どもが望ましい人間として成長するためには、親が意識し意図的に教えていく動作や作法、礼義などの「**躰**」のほかに、親が家庭で日常何気なくやっていることが、自然に子どもに染み込んでいくように「親の姿、生き方」そのものが子どもの成長に目に見えぬ力をもっていると思います。



親（大人）の姿を子どもに見せながら、「**焦らずに急かさず、温かく見守り、優しく励まし、根気強く、辛抱強く**」を心がけていきたいものです。

結びに、ある書物の一遍をご紹介します。

「一番の宝物」

娘と待ち合わせをした駅でのこと。

改札前の片隅で本を読んでいてそろそろかなと思い、ふと見上げた目に飛び込んできた光景。それは白い杖をついた方が南口の降りる階段が分からず、何だか見ていて危ない状態の後ろ姿だった。

今にも落ちそうな感じなので、その人のもとへ人込みをかき分けて走っていくと私より先に下から階段を駆け上がってきた人がその人を支えてくれた。

娘だった。嬉しかった。慈しんで育てた娘が今、私と同じ思いを他の方にも、もってくれている。今でもそのことを思うと幸せな涙があふれる。これまで生きてきて一番の宝物です」

（涙が出るほどいい話 第7集）



「**焦らずに急かさず、温かく見守り、**

優しく励まし、根気強く、辛抱強く」 心がけて子育てを！

12月の行事予定

日	曜日	学 校 行 事 等
1	木	朝のかけ足 安全点検
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	朝のかけ足 ALT 来校 委員会⑥
6	火	児童朝会 学級費集金日 (PTA 会費)
7	水	朝のかけ足
8	木	朝のかけ足 一斉研修日
9	金	朝のかけ足 PTA 新旧本部役員会 19:00
10	土	(世界人権デー)
11	日	
12	月	朝のかけ足 ブックトーク1年～3年 クラブ⑥
13	火	音楽朝会 給食費集金日
14	水	
15	木	地区児童会③ チャレンジタイム⑥
16	金	ブックトーク4年～6年
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	なんでも相談日
21	水	音楽朝会
22	木	2学期終業式④ 学活⑤
23	金	天皇誕生日
24	土	
25	日	
26	月	個人懇談希望者
27	火	
28	水	(仕事納め)
29	木	年末休業日
30	金	年末休業日
31	土	(大晦日)

- 1日(木)から、1月20日のマラソン大会に向けて「朝のかけ足」が始まります。
 - 6日(火)は、学級費集金日です。また、PTA会費の3期分を徴収します。
 - 10日(土)は、1948年12月10日、第3回国際連合総会で「世界人権宣言」が採択されました。そこで、12月10日を「世界人権デー」とし、世界中で人権を大切にする取組が行われています。
 - 12日(月)と16日(金)にブックトークを行います。テーマは「旅」です。いろいろな「旅」を計画しています。どんな「旅」になるかとても楽しみです。
 - 15日(木)は、地区児童会を行います。「冬休みのくらし」について確認をしていきます。楽しい「冬休み」するためにもしっかり計画を立てて決まりを守りましょう。
 - 20日(火)は、「なんでも相談日」です。困っていることがあったら何でも相談してください。
 - 22日(木)は、2学期終業式があります。「あゆみ」を持って帰ります。子どもたちの頑張りをしっかり褒めてあげてください。
 - 26日(月)は、個人懇談を希望者で行います。後日案内を配布します。
- ★冬休みについて★**
 冬季休業日は、12月23日～1月9日の期間です。
 1月10日(火)に3学期始業式を行います。児童のみなさんが元気に登校してくるのを待っています。



感染性胃腸炎・インフルエンザが流行しています！！

- 感染性胃腸炎は冬季に流行するノロウイルスやロタウイルスなどの感染症です。予防のため石鹸と流水でしっかり手を洗い、調理の際は食品を中心部まで加熱しましょう。
- インフルエンザにかからないために、手洗い・うがいなどの予防対策を心がけましょう。